

# 自然科学の研究競う

熊本でインターハイ 高校生800人

九州各地の高校生が自然科学の研究を発表し合う 大で開かれ、約800人が研究成果を競った。

「サイエンスインターハイ」が30日、熊本市西区の崇城

への関心を高めようと崇城 高校生の学力と自然科学



研究成果を  
発表する高  
校生たち

らに熱心に説明していた。同大の教員らが審査員として各ブースを回り、研究内容や、発表の分かりやすさなど評価し点数化して優秀グループを表彰した。

第二高3年の中津秀彬さん(17)は磁力を利用した加速装置「ガウス加速器」を使った研究を説明。「パネルだけでなく、タブレット端末の動画も見せて分かりやすくした。他校の研究は、違った視点があって参考になった」と話していた。表彰された主な研究成果は次の通り。

【グランプリ】副実像の写像公式化の研究、捉えた！ゴーストの出現位置(熊本・宇土高)

【準グランプリ】水酸化鉄(Ⅲ)コロイドの研究(大分・大分上野丘高)、プラタナスを用いたコバルトイオンの除去に関する研究(福岡・鞍手高)